

## 11.ミラノ：ガレリア・ドゥオーモ



ミラノはイタリア北西部に位置しており金融・工業・商業都市である。

その表だった歴史は古代ローマの属州化から始まる。

ローマ時代に建造されたサンタ・マリア・マッジョーレ教会が当時の街の中心に位置づけられ、それが今のドゥオーモに継承される。街の象徴でもあるドゥオーモは約5世紀という時間を要して完成した。尖塔が特徴的なスケール感ある荘厳な外観とともに、圧倒的な存在感がある。

アーケード街に象徴されるガレリアはイタリア統一時の国王エマニエール2世を由来に、建築家ジョゼッペメンゴーニによって建設された鉄とガラスのアーケード街である。

そこから街の中心ドゥオーモまで連続してアプローチでき、都市の魅力を更に高いものにしている。

「ドゥオーモ」「ガレリア」以外にも多々観光すべきところはあるが、この二つに代表される街の求心力は、他の観光需要に頼るイタリア都市と異なり、非常に魅力的であると感じた。

(小柳 実)